

(様式2)

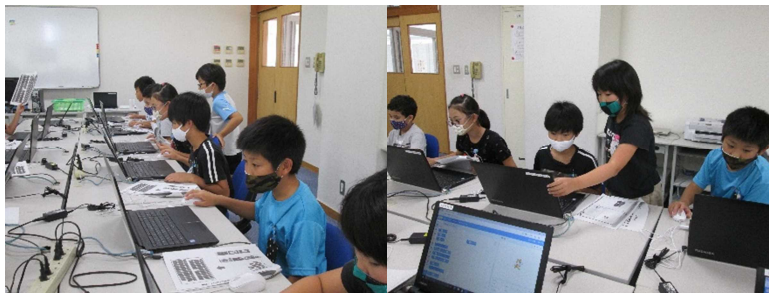
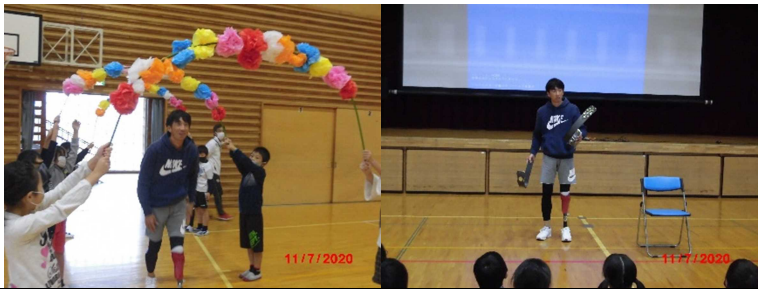
2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

### 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【磐田市立豊田南小学校】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ <b>V</b> (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	4年生 85名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 総合的な学習の時間 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	・実際の競技を体験したり、オリンピック・パラリンピックについて調べ学習を行ったりすることで、スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心を持つことができる。
5 取組内容	①福祉学習の一環で、パラリンピックや障害者スポーツについて調べ学習を行う。  ②障害者スポーツ体験講座を実施する。 



③競技の様子を動画で見る。

I'm possibleを活用し、パラ学習の推進。

④障害者との望ましいかかわり方について考える。



車いす利用者、聴覚・視覚障害者の講話を聞き、生活の苦勞やスポーツとのかかわりについて学んだ。

## 6 主な成果

- ・障害を持つ人がスポーツをするという概念がなく、パラリンピックという知識すらなかった子供たちが、パラリンピックや障害者スポーツへの知識が身に付け、興味関心が高まった。
- ・現役の選手の話の聞いたり、一緒に走ったりしたことを通して、その選手を応援したくなった。また、パラリンピックや障害者スポーツ大会を見てみたい、と考える子供が増えた。
- ・障害者を身近に感じ、差別や偏見が少なくなった。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>・選手の講座を一方向的に聞くだけでなく、歓迎の気持ちを伝えたり応援の気持ちが伝わるように、選手とともに講座を創り上げることができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>・1年を見通した事業計画を立てることの難しさを感じました。コロナ禍の中で見通しが持てない中、とても短い期間で講師選定、講師との企画連絡がとても苦しかった。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>実施校として、来年度以降にどのようにして、この事業を活用(継続・発展)していく予定でいるかを記載してください。</p> <p>とてもよい経験になったので、来年度以降も講師をお呼びしたり、実際に活動したりすることを通して4年生の総合的な学習の時間のテーマである「福祉」と絡めて学習していきたい。</p> <p>また、来年度以降にパラスポーツの物品購入を検討したり、動画や資料などを教員の間で共有したりし、4年生のみに留めず他の学年においても興味関心が持てるようにしていこうと考える。</p>